

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値に関する発問が『考えよう』として掲載されており、内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、役割演技を通して考える学習活動が『みさきさんのえがお』に、思考ツールを例示し議論を深める学習活動が『考えるためのツール』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを振り返り、これからの生活に生かしたいことを書く学習活動が『学習の記録』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付けた、いじめ・人権を考える学習活動がユニット『「いじめ」について、考えよう』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやインターネットなどの適切な使い方や個人の権利等について考える学習活動がコラム『さまざまな角度から情報を確認しよう』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『心をつなぐ音色』や人・公共のために働く思いなどを取り上げた『「あんぱんの日」』などが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、学びの流れを説明した『どんな学びをするのかな?』が巻頭に示され、話し合いの流れなどが示された『問題を見つけて考えよう』が教材末に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、特別活動と関連した『かれてしまったヒマワリ』、外国語活動と関連した『三つの国』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言語活動を含めた授業の流れや、言語活動の例が『道徳の学習を始めよう・どんな学びをするのかな?』『こんな学び方もあるよ』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた教材『ふるしき』や『正月料理』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、登場人物になりきって考える学習活動が『えんじて考えよう』に、小学生が参加できる体験活動が『いろいろなボランティア活動』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では絵や写真などを配置した教材が掲載されており、第6学年では中学生になる児童へのメッセージが『夢をつかむ、ちから。』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、情報の真偽を考えることなど現代的な情報モラルを取り上げた『ちょさくけんクイズ』やコラム『つながる 広がる さまざまな角度から情報を確認しよう』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、学習の流れや、学び方について説明する『道徳の学習をはじめよう どんな学びをするのかな?』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『ある犬のお話』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、自己を見つめ今後を生かす学習活動が『考えよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、思考の共有を図るために活用する思考ツールを例示した『考えるためのツール』が巻末に掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を即興的に演技して考える学習活動が『えんじて考えよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪特別の教科 道徳(道徳)≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	教出	書名	小学道徳 はばたこう明日へ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値の理解に関連した発問が教材名の下部に掲載されており、各教材の最後のページには『考えよう・話し合おう』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題に気づき話し合う学習活動が『なんとやってつたえる』に、解決方法を考えながら思考力を高める学習活動が『参考にするだけなら』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、1年間の学びを振り返り、これからの課題や目標を見つける学習活動が『学習をふり返ろう』に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付けた、いじめ・いのちについて考える学習活動がユニット『いじめをなくす』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、ネット上でのコミュニケーションに関する問題や個人の権利について考える学習活動が『個人の権利って』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『横浜港のガンマンの思い』や、自分の仕事を誇りに思う気持ちなどを取り上げた『カッコいいせなか』が掲載されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、対話による学びの視点や発問例が教材名の下部に示されており、自らの考えを深める学びの視点が『考えよう』『深めよう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、特別活動と関連した『応援団の旗』、国語科と関連した『おじいちゃん だいすき』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、言語活動の例や話し合いの進め方が示されている『道徳ではこんな学び方をするよ』、『学びのガイダンス』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、昔から伝わる行事をとおして伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『にっぽんの ぎょうじ』や『赤飯』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、登場人物になって考える学習活動が『演じて考えよう』に、道徳的行為に関する体験的な学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年ではひらがなで書かれた詩が掲載されており、第6学年では先人の生き方を取り上げた『世の中のためになることをしたいー石橋 正二郎ー』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、個人情報取り扱いについてや、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを取り上げた『個人の権利って?』やユニット『じょうほうとむき合う』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れを説明する学びのガイダンス『道徳ではこんな学び方をするよ』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『まなびリンク』などに示され、画像などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、問題解決につながる言語活動が『問題を解決しよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、多様な視点から物事を見つめ、考え、議論できるような問いが『かんがえよう』『ふかめよう』などに掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技や登場人物等の立場になって考える学習活動が『やってみよう』に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、30の主たる教材が掲載されている。また、『補充の教材』が複数掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	光村	書名	道徳 きみが いちばん ひかるとき
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について考える『考えよう・話し合おう』が掲載されており、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、多面的・多角的な考え方に触れる学習活動が『こんな活動で考えることもできるよ』に、役割演技などの体験的な学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自分の考えや行動を振り返り、自己評価の記録を残すことができる学習活動が『学びの記録』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付けた「いじめ問題」を考える学習活動がユニット『いじめをゆるさない心』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、ネット上のルール、肖像権やプライバシー権について考える学習活動が『気に入らなかつた写真』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『働くって、どうのこと?』、人・公共のために働く思いを取り上げた『神戸のふっこうは、ぼくらの手で』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、『みんなで気持ちよく話し合うためのこつ』が示され、思考や対話を促す問い『考えよう・話し合おう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、社会科と関連した『世界人権宣言から学ぼう』、図画工作科と関連した『よごれた絵』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合い活動の進め方や実践例が『みんなが気持ちよく話し合うためのこつ』『考える』準備たいそう』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、郷土の伝統や文化を守ることの大切さやそれを形成する心について取り上げた『曲げわっぱから伝わるもの』や『ふるしき』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、役割演技を通じて道徳的諸価値についての理解を深める学習活動が『ドッジボール対決』に、登場人物になりきって心情を考える学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では絵や写真などを配置した教材が掲載されており、第6学年では先人の夢に触れ将来の生き方についての考える『一さいから百さいの夢』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、肖像権やプライバシーの権利など現代的な情報モラルを取り上げた『気に入らなかつた写真』やユニット『じょうほうとむき合う』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れを説明する『道徳の学び方』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『私には夢がある』などに示され、音声資料などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、学びのめあてが示された学習活動が『考えよう・話し合おう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、他者と対話しながら意見を受け止め、道徳的価値について考える視点が『考えるじゅんびたいそう』などに掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、登場人物の言動を即興的に演じて考える学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5変型判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』『目次や吹き出し等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪特別の教科 道徳(道徳)≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	日文	書名	小学道徳 生きる力 道徳ノート
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について考える発問が教材名の下部に掲載されており、各教材末には考えを深めるコーナー『見つめよう・生かそう』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決的な学習活動が『心づかいとおもいやり』に、道徳的行為に関する体験的な学習活動が『ぐっと深める』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、心に残っていることを記述し、自分の考えや行動を振り返る学習活動が別冊『道徳ノート』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材とコラムを関連付けた、いじめ問題について考える学習活動がユニット『いじめをなくすために』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、携帯電話等の節度ある使い方や情報モラルについて考える学習活動が『めざせ！情報モラルの達人』などに設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『ウイルスとの戦いー父にエールをー』、人・公共のために働く思いなどを取り上げた『ぼくの草取り体験』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、役割演技や話し合いを深めるため授業の展開例が『ぐっと深める』に示され、授業の流れに沿った発問例が『考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、特別活動と関連した『さと子の落とし物』、生活科と関連した『あいさつの ある いちにち』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話すことや聞くことについての活動例や進め方が、『道徳のとびら』『道徳の学びかた』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、茶道における心づかいなど伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『ぼくのお茶体験』や『につぼんのおかし』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、役割演技を通して考える学習活動が『気づいていなかったこと』に、役を演じて登場人物の心情を考える学習活動がコラム『ぐっと深める』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になり楽しいことを考える発問が示され、第6学年ではよりよく生きることについて取り上げた『ゴゴ 九十四歳の小学生』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルについて取り上げた『きまりはだれのため？』や『心のベンチ めざせ！情報モラルの達人』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れや活動形態について説明する『道徳の学び方』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『めざせ！情報モラルの達人』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、学びを振り返る学習活動が、『ぐっと深める』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、考え、議論する話し合い活動について、写真やイラストを用い視覚的に示した『道徳の学び方』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、話し合い活動や体験的な学習活動が『道徳の学び方』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	光文	書名	小学道徳 ゆたかな心
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について理解を深めるため『ひろげよう』が掲載されており、各教材と関連する内容項目の対応一覧が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、役割演技を通して多面的・多角的に考える学習活動が『ドンマイ!ドンマイ!』に、人と関わり考える学習活動が『みんなでやってみよう』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、心に残っていることや、自らの学習状況を記述する学習活動が『学びの足あと』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、複数の教材を関連付け、いじめ・人権について考える学習活動がユニット『いじめを生まない心』に設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の正確さ、安全性について、スマートフォンの使用について考える学習活動が『本当にだいじょうぶ?』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『ホペイロのヤマさん』、ボランティア等の活動に関わる人の思いを取り上げた『広村堤防の清掃ボランティア』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、考えを整理するために『話し合ってみよう』が示され、話し合いや思考を深める『ひろげよう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、社会科と関連した『鑑真和上』、生活科と関連した『もうすぐ 二ねんせい』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの進め方や考えの整理の仕方について『道徳の時間はこんな時間です』『いろいろなやり方で考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、文化財や昔の人々のねがいから伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『ねがいを つみ上げた石橋』や『キツネおどり』などが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、動作化や役割演技を通して考える学習活動が『温かいおまんじゅう』に、体験的な学習活動が、『みんなでやってみよう』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年は絵や写真を配置した教材が掲載されており、第6学年では中学生の自分が大切にしたいことについて取り上げた『大空に飛び立つ鳥』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを取り上げた『ヒントまであと少し』や『情報モラル 情報を有効活用するために』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、1時間の学習の流れや、学習と日常生活の関わりについて説明する『道徳の時間は、こんな時間です』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『棚田と人をつなぐ』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的価値に関連して考えることについての3つの柱が示され、それをもとに考える学習活動が、『かんがえよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、言語活動の中で、考えをまとめたり、広げたりするための思考ツールを示した『いろいろなやり方で考えてみよう』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、問題解決的な学習活動や教材の内容を元に役割演技をする学習活動が『みんなでやってみよう』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35時間の主たる教材が掲載されている。『付録』として複数の教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『ユニバーサルデザインに配慮し、カラーバリアフリーを含む対応をしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第6学年のものに統一

教科種目名 ≪ 特別の教科 道徳(道徳) ≫

※詳細については、資料Ⅱ(道徳-7～道徳-15)を参照

発行者の略称	学研	書名	新版 みんなの道徳
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値の理解を深めるため、考える視点を表すマークが『わたしのこと』などに掲載されており、各教材と関連する内容項目の対応一覧が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、話し合い活動や問題解決的な学習活動が『しんぱんは自分たちで』に、役割演技を通して考える学習活動が『心のパスポート』に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自身の成長を振り返り、課題や目標を見つける学習活動が『つなげよう ひろげよう』に設定されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止に関連する教材とコラム『心のパスポート』を関連付け、いじめ問題について考える学習活動が設定されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、インターネットを使用する際の危険性や個人情報を書き込むことについての問題点を挙げた学習活動が『私たちと情報』に設定されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、キャリア教育に関する『この思いをフェルトペんにたくして』、社会貢献についてを挙げた『神戸のふっこうは、ほくらの手で』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>≪ 教科・種目共通の観点 ≫</p> <p>○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、自らと教材の内容をつなげて考える『深めよう』が示され、道徳的価値について多角的・多面的に考えるため『心のパスポート』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、総合的な学習の時間と関連した『チョモランマ清掃登山隊』、生活科と関連した『あかるい あいさつ』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、話し合いの進め方や関連する言語活動の例が、『道徳の学習が始まるよ』『深めよう』に掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、郷土に伝わる行事や和食から伝統的な文化やそれを形成する心について取り上げた『大みそかの朝に』や『おしょうがつ』が掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、役割演技を通して考える学習活動が『うばわれた自由』に、コミュニケーションスキルを高めるための体験的な学習活動が『心のパスポート』に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になった気持ちについて考える教材が掲載されており、第6学年では将来の夢について考える『栄光の架橋』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、インターネットの危険性など現代的な情報モラルを取り上げた『家のパソコンで』やコラム『私たちと情報 SNS 私の判断』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 児童の学習上の困難さへの対応について、考えを深めるための視点や手順について説明する『道徳の学習が始まるよ』が掲載されている。</p> <p>○ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『カラフルな工夫』などに示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪ 各教科・種目別の観点 ≫ (それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、考え、議論する学習活動が『ふかめよう』に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、自己を見つめ、深く考える議論のテーマ例を示した『深めよう・自分の進む道は自分で決める』などが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 道徳的行為に関する体験的な学習について、教材での学習を基に自分につなげて考えたり、体験したりする学習活動が『心のパスポート』に設定されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 22の内容項目を含む、35(1年のみ34)の主たる教材が掲載されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮して制作しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《特別の教科 道徳(道徳)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、全ての教材末に考えよう』のコーナーに主発問が掲載されている。また巻末に、道徳的諸価値を理解するために、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、各学年、教材名の下に内容項目や道徳的諸価値に関連する発問が掲載されている。また、各教材の最後のページに道徳的諸価値を理解するためのコーナー『考えよう・話し合おう』が掲載されている。
光村	「知識・技能」の習得について、各教材の最後のページに道徳的諸価値について考えるコーナー『考えよう・話し合おう』が掲載されている。巻末に、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値について考える発問が教材名の下に導入の発問が設けられている。また、各教材末に『道徳的諸価値についての理解を深めるためのコーナー『見つめよう・生かそう』が掲載されている。
光文	「知識・技能」の習得について、巻末に、各教材と関連する学習指導要領で示されている内容項目の対応一覧が掲載されている。また、道徳的諸価値についての理解を深める『ひろげよう』などが掲載されている。
学研	「知識・技能」の習得について、道徳的諸価値についての理解を深めるため、考える視点を表すマークが『わたしのこと』などに掲載されている。巻末に、学習指導要領で示されている内容項目と各教材の対応一覧表が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、役割演技を通して考えたり、問題を見つけて話し合う学習活動が『みさきさんのえがお』や『SL公園で』などに掲載されている。思考の共有化を通して議論を深めるよう、思考ツールが、巻末の『考えるためのツール』に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題を見つけてみんなと話し合う活動や動作化を通して考える学習活動が、第3学年『なんと言ったええ』に設定されている。問題を見つけて話し合い、解決方法を考え思考力を高める学習活動が、第5学年『参考にするだけなら』『図書館はだれのもの』に設定されている。
光村	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年『たてわりはんそうじ』では多面的・多角的な考え方に触れる学習活動が『こんな活動で考えることもできるよ』に、『教えてあげる? 持ってあげる?』では役割演技などの体験的な学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、問題解決的な学習活動が第6学年『心づかいと思いやり』『手品師』に、道徳的行為に関する体験的な学習活動が『ぐっと深める』のコーナーに設定されている。
光文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では役割演技などを通して、多面的・多角的な考え方に触れる『ドンマイ! ドンマイ!』が設定されている。人と関わることで多面的・多角的な考え方に触れるコミュニケーション活動が『みんなでやってみよう!』『言葉のキャッチボール』に設定されている。
学研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、役割演技を通して考える体験的な学習活動が、特設ページ『心のパスポート』などに設定されている。話し合い活動や問題解決的な学習活動が第3学年では『しんぼんは自分たちで』、第6学年では『チョモランマ清掃登山隊』に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各学年『道徳の学習を始めよう』『どんな学びをするのかな?』が設けられ、道徳の学習の学び方が例示されている。また、各学年に1年間の学びを振り返り、心に残った教材やこれからの生活に生かしたいことを書く学習活動が『学習の記録』に設定されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、各学年、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見つけたることができるように、『道徳ではこんな学び方をするよ』が、巻末『学習をふり返ろう』などに設定されている。
光村	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、自分の考えや行動を振り返る学習活動が『あかるい あいさつ』に設定されている。1年間の学びを見渡すために、印をつけ自分の考えや行動を振り返る学習活動が巻末『学びの記録』に設定されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、学習した道徳的価値について、多面的・多角的な見方、考え方へ深める学習活動が『心のベンチ』に設定されている。自分の考えや行動について振り返ったり、教材から学び、心に残っていることを記述したりする学習活動が、別冊『道徳ノート』に設定されている。
光文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、「なりたい自分」を想起したり、心に残っていることや、自らの学習状況を記述したりする学習活動が自己評価シート『学びの足あと』に設定されている。
学研	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、児童が自身の成長を振り返り、自己に向き合い、自分をとりまく現代的な課題を意識し目標を見つける学習活動が、巻頭『つながる私 広がる私』に、巻末『つなげよう ひろげよう』に設定されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。 (共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「人権教育」について、第6学年では『ばかじゃん!』など、各学年に複数の教材が設定され、いじめ・人権を考える学習活動がユニット『「いじめ」について、考えよう』に設定されている。
教出	[思いやる力]の「人権教育」について、第6学年では、いじめ・いのちについて考える学習活動が、『友達だからこそ』『ひきょうだよ』などの教材と『広い海へ出てみよう』で構成されたユニット『いじめをなくす』に設定されている
光村	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止の視点から、第6学年では、「いじめ問題」を考える学習活動が、教材『泣き虫』や『この胸の痛みを』とコラム『「隣人」として寄りそう』で構成されたユニット『いじめを許さない心』に設定されている。
日文	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止の視点から、複数の教材とコラムを関連付けて考える学習活動が、ユニット『いじめをなくすために』に設定されている。第5学年では、『真由、班長になる』『名前のない手紙』とコラム『心のベンチ いじめは止められる!』に設定されている。
光文	[思いやる力]の「人権教育」について、コラムと複数の教材を関連付けた、いじめ・人権について考える学習活動が、ユニット『いじめを生まない心』に設定されている。第5学年では、『いじめを生まない心 クラスの雰囲気、これでいいの?』と教材『光輝の告白』などがユニットとして設定されている。
学研	[思いやる力]の「人権教育」について、いじめ防止の視点から、第5学年では、いじめ防止に関連する教材とコラムを関連付け、いじめ問題について考える学習活動が、教材『いじめをなくすために』とコラム『心のパスポート 自分だったらどう思うか、三つの立場で考えてみよう』に設定されている。
⑤ [たくましく生きる力]自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。 (公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報モラルやインターネットなどの適切な使い方及び個人の権利等について考える学習活動が、コラムや教材に設定されている。第6学年ではコラム『さまざまな角度から情報を確認しよう』、第3学年では『作ひんのかち』などに設定されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、第6学年ではネット上でのコミュニケーションに関する問題や個人の権利について考える学習活動が、『個人の権利って』に、第5学年では『ネット上の友達』などに設定されている。
光村	[たくましく生きる力]の「情報化」について、ネット上のルール、肖像権やプライバシー権について考える学習活動が、第6学年では『気に入らなかった写真』、第4学年では『じょうほうと向き合う インターネット上のやり取り』などに設定されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、携帯電話等の節度ある使い方や情報モラルを考える学習活動が、第6学年では『めざせ!情報モラルの達人』のコーナーが設定されている。また、情報モラルを考える学習活動が第3学年では『きまりはだれのため?』に設定されている。
光文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報の正確さ、安全性について考える学習活動が、第3学年では『ヒントまであと少し』やスマートフォンの使用について考える、第6学年では『本当にだいじょうぶ?』が設定されている。
学研	[たくましく生きる力]の「情報化」について、インターネットを使用する際の危険性や個人情報を書き込むことについての問題点を取り上げた学習活動が『私たちと情報』に設定されており、第3学年では『家のパソコンで』、第4学年では『カマキリ』などの教材が設定されている。
⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。 (生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第6学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『心をつなぐ 音色ーピアニスト辻井伸行ー』や、第3学年では人・公共のために働く思いなどを取り上げた、『「あんぱんの日」ー木村安兵衛・英三郎』が掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第5学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『横浜港のガンマンの思い』や、第4学年では自分の仕事を誇りに思う気持ちを取り上げた『かっこいいせなか』が掲載されている。
光村	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第6学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『「働く」って、どうのこと?』、第4学年では人・公共のために働く思いを取り上げた『神戸のふっこうは、ぼくらの手で』などが掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第6学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『ウイルスとの戦いー父にエールをー』や、人・公共のために働く思いや、自分の仕事を誇りに思う気持ちを取り上げた第4学年『ぼくの草取り体験』などが掲載されている。
光文	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第4学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『ホペイロのヤマさん』や、第6学年ではボランティア等の活動に対する人々の思いについて取り上げた『広村堤防の清掃ボランティア』が掲載されている。
学研	[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第5学年ではキャリア教育や社会参画に関して取り上げた『この思いをフェルトペンにたくして』や、第4学年では社会に役立つことをするために必要な心について取り上げた『神戸のふっこうは、ぼくらの手で』が掲載されている。

3 内容と構成

○ 小学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮

東書	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に児童が主体的に考え、議論できるよう、授業の流れを短い文章と挿絵を使って説明した『どんな学びをするのかな?』が掲載されている。また、教材末に発問や「気づく」「考える」「広げる・深める」という話し合いの流れが示されている『問題を見つけて考えよう』が掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、教材名の下に対話による学びの視点や発問例が示されている。また、教材の内容について話し合ったり演じたり書いたりして、自分を見つめ、様々な面から物事を見直し、自分の考えを深める学びの視点が示された『考えよう』『深めよう』が掲載されている。
光村	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に『みんなで気持ちよく話し合うためのこつ』が掲載されている。また、教材末に、学びのめあてが太字で示され、思考や対話を促す問い『考えよう・話し合おう』が掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、役割演技や話し合いを深める手立てとしての授業展開例が、『ぐっと深める』に学年ごとに複数設定されている。また、全ての教材に、授業の流れに沿って学びを深める発問例が『考えてみよう』などとして掲載されている。
光文	主体的・対話的で深い学びについて、巻頭に考えを整理するための絵や図の例や、言葉のカードなど話し合いのツールの中から言葉を選び自分たちで言葉を考えるコーナー『話し合って考えてみよう』が示されている。また教材末に、話し合いや思考の整理、学習内容の振り返りを促す『かんがえよう』などが掲載されている。
学研	主体的・対話的で深い学びについて、教材末に自らと教材の内容をつなげて考えるために、話し合いの流れや話し合いを深めるための発問や、考えを書く欄が示された『深めよう』や、道徳的価値について多角的・多面的に考えるための『心のパスポート』が特設ページとして掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、小学校6年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、児童が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第5学年では特別活動と関連した『かれてしまったヒマワリ』、第3学年では外国語活動と関連した『三つの国』などが設定されている。コラムページの上部に関連する教科名が掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第6学年では特別活動と関連した『応援団の旗』第1学年では、国語科と生活科が関連した『おじいちゃん だいすき』などが設定されている。また、児童や学校、地域の実態などに応じた指導のために補充教材が掲載されている。
光村	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、第6学年では、社会科と関連した『世界人権宣言から学ぼう』、第3学年では図画工作科と関連した『よごれた絵』という教材が掲載されている。また、学習のてびきの下には、他教科との関連がわかるようなマークが付されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第3学年では特別活動と関連した『さと子の落とし物』、第1学年では、国語科や生活科と関連した『あいさつの ある いちにち』などが設定されている。また、コラムに「ほかの教科などとの関連」として教科名が掲載されている。
光文	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第6学年では社会科と関連した『鑑真和上』、第1学年に国語科や生活科と関連した『もうすぐ 二ねんせい』などが掲載されている。巻末の内容項目教材一覧の他教科との関連の欄に教科名が掲載されている。
学研	カリキュラム・マネジメントについて、各教科等と関連した教材として、例えば、第1学年では国語科及び生活科と関連した『あかるい あいさつ』、第6学年では総合的な学習の時間と関連した『チョモランマ清掃登山隊』とコラムなどが設定されている。また、安全や食育、スポーツなどとの関連を示すマークが目次や教材のページに掲載されている。

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成

東書	言語能力の育成について、言語活動を含めた授業の流れが、文章と挿絵を使い、巻頭の『道徳の学習を始めよう・どんな学びをするのかな?』に掲載されている。また、第6学年では『言葉のおくりもの』に関連させて伝え合う活動例が『つながる・広がる』に掲載されている。
教出	言語能力の育成について、話し合いの進め方や言語活動の例が、巻頭の『道徳ではこんな学び方をするよ』や『学びのガイダンス』に掲載されている。考えを発表するなどの言語活動が、第5学年『ロレンゾの友達』の中に設けられた『やってみよう』に設定されている。
光村	言語能力の育成について、巻頭に話し合い活動の準備や、進め方の手引き、実施例が示されている『みんなが気持ちよく話し合うためのこつ』が掲載されている。また、児童がみんなで言う話し合い活動例が『「考える」準備たいそう』として掲載されている。
日文	言語能力の育成について、話すことや聞くことについての活動例や進め方が、巻頭『道徳のとびら』『道徳の学びかた』のコーナーに掲載されている。第4学年教材『雨のバスでいりゅう所で』では、役割演技を通して考えを深める場が設定されている。
光文	言語能力の育成について、話し合いの進め方や考えの整理の仕方について『道徳の時間はこんな時間です』、『いろいろなやり方で考えてみよう』に掲載されている。また、言語活動との関連を踏まえ、教材と関連する本を読む読書活動や考えたことをノートなどに書いて言語化する活動が『まとめよう』『ひろげよう』に設定されている。
学研	言語能力の育成について、話し合いの進め方や関連する言語活動の例が、『道徳の学習が始まるよ』、『深めよう』に掲載されている。第6学年では『チョモランマ清掃登山隊』などの教材ごとに『深めよう』という特設ページが設けられ、言語活動例が掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では日本に古くから伝わっているものについて取り上げた『ふろしき』が掲載されている。また、第5学年では、児童にとって身近な題材から伝統的な文化に関するものを取り扱った『正月料理』が掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では昔から伝わる行事について写真をもとに学習できるように『にっぽんのぎょうじ』が掲載されている。また、第4学年では、日本や地域の伝統の食べ物を例に、伝統的な文化に関するものを取り扱った『赤飯』が掲載されている。
光村	伝統や文化に関する教育の充実について、第6学年では郷土の伝統文化の継承や発展を通して、国や地域の文化について考える『曲げわっぱから伝わるもの』が掲載されている。第3学年では伝統的な文化を形成する様々な心について考える『ふろしき』などが掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本のお菓子について取り扱った『にっぽんのおかし』が掲載されている。第6学年では茶道における心づかいから伝統や文化について考える『ぼくのお茶体験』が掲載されている。
光文	伝統や文化に関する教育の充実について、第4学年では文化財や昔の人々のねがいから伝統的な文化に関するもの考える『ねがいをつみ上げた石橋』が掲載されている。第3学年では伝統的な文化について考える『キツネおどり』などが掲載されている。
学研	伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では郷土に伝わる行事や歴史的な事象及び和食を取り上げた『おしょうがつ』が掲載されている。第6学年では伝統的な文化を形成する様々な心について考える『大みそかの朝に』などが掲載されている。

⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、登場人物になりきって考える学習方法「役割演技」の紹介として『えんじて考えよう』が設定されている。また、『わたしのボランティア体験』の『つながる・広がる いろいろなボランティア活動』では、小学生が参加、体験できるようなボランティア活動が設定されている。
教出	体験活動の充実について、第6学年では、登場人物になって考える学習活動が『だまって借りてもいいのかな』の『演じて考えよう』に設定されている。道徳的行為に関する体験的な学習活動が、『父の言葉』などの教材末に『やってみよう』が設定されている。
光村	体験活動の充実について、役割演技を通じて道徳的諸価値についての理解を深める学習活動が第5学年では『ドッジボール対決』に設定されている。また、登場人物になりきって心情を考える学習活動が『演じて考えよう』に設定されている。
日文	体験活動の充実について、役割演技や動作化を通して考えを深める教材、第3学年『気づいていなかったこと』など掲載されている。また、目次や教材に役割演技や動作化に関連したマークが示されている。役を演じて登場人物の心情を考える活動がコラム『ぐっと深める』や『心のベンチ』に掲載されている。
光文	体験活動の充実について、第5学年では動作化や役割演技を通して考える活動が『みんなの劇』に設定されている。第6学年では『温かいおまんじゅう』などが設定されている。また、実際に問題となる場面を想定した体験的な活動を通して人間関係の構築につなげるために、『みんなでやってみよう』に設定されている。
学研	体験活動の充実について、第3学年では役割演技を通して考えを深める活動が『貝がら』に設定されている。第5学年では『うばわれた自由』などに設定されている。また、コミュニケーションスキルを高め、考えを深めるための体験的な活動が、児童が学習した内容項目に関連させたコラム『心のパスポート』に設定されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、幼稚園・保育園からの接続に関連して、第1学年では、絵や写真など複数配置した教材が掲載されている。中学校との関連を図るため、第6学年では中学生になる児童へのメッセージが『夢をつかむ、ちから。』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、幼稚園・保育園からの接続に関連して、第1学年では、ひらがなで書かれた詩や、イラストや漫画などを用いた教材が掲載されている。第6学年では、巻末に先人の考えに触れ自己の生き方を考える5つの追加教材『世の中のためになることをしたいー石橋 正二郎ー』などが掲載されている。
光村	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では絵や写真などを配置した教材が掲載されており、第6学年では、身近な12歳、卒業後につながる16歳など、先人の夢に触れ将来の生き方についての考える『一さいから百さいの夢』などが掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になり楽しいことを考える発問が示されており、第6学年では、学ぶことやよりよく生きることについて考える『ゴゴ 九十四歳の小学生』などが掲載されている。
光文	学校段階間の円滑な接続について、幼稚園・保育園からの接続に関連して、第1学年では、絵や写真など複数配置した教材が掲載されている。第6学年では、「本当の自由」について話し合う活動を通して、中学生になるにあたって自分が大切にしていきたいことについて考える『大空に飛び立つ鳥』などが掲載されている。
学研	学校段階間の円滑な接続について、第1学年では小学生になった気持ちを考える教材として取り上げた『はりきり 1ねんせい』などが掲載されている。第6学年では将来の夢について考える『栄光の架橋』などが掲載されている。
⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、著作権とはどのようなものなのか考える、第3学年では『ちょさくけんクイズ』などが設定されている。情報の真偽を慎重に考えることの大切さ、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った第6学年コラム『つながる広がる さまざまな角度から情報を確認しよう』が掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、個人情報の取り扱いについてや、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った複数の教材からなるユニット『じょうほうとむき合う』が設定されている。第6学年では、個人の権利を守るために、プライバシー権があることについての内容『個人の権利って?』などが掲載されている。
光村	情報活用能力の育成について、肖像権やプライバシーの権利、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った複数の教材からなるユニット『じょうほうとむき合う』が設定されている。第2学年『じょうほうとむきあう』では、『どうして声をかけるのかな』、友達の写真をSNSに投稿したことにより、友達が傷ついてしまうことについて考える第6学年『気に入らなかった写真』などが掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、第3学年では、SNSの適切な使い方など、きまりやルールが誰のためにえるのかについて考える『きまりはだれのため?』などが設定されている。第6学年では、情報モラルについてクイズで確かめ、情報モラルについての理解度を確かめる『心のベンチ めがせ!情報モラルの達人』が掲載されている。
光文	情報活用能力の育成について、第3学年では、情報の正確さや、SNSの適切な使い方など現代的な情報モラルを扱った『ヒントまであと少し』などが設定されている。第6学年では、危険性も理解した上で、情報を有効活用する方法を考える『情報モラル 情報を有効活用するために』が掲載されている。
学研	情報活用能力の育成について、第3学年では危険なサイトにつながってしまうインターネットの危険性など現代的な情報モラルを扱った『家のパソコンで』などが設定されている。第6学年では、SNS上での適切なやりとりや交流について、具体的な事例を踏まえて考えるコラム『私たちと情報 SNS 私の判断』が掲載されている。

⑭ 児童の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	児童の学習上の困難さへの対応について、学習のおおまかな流れや、学び方の形態についてイラストを用いて説明する『道徳の学習をはじめよう どうな学びをするのかな?』に掲載されている。
教出	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に1時間の学習の流れをイメージするための説明、学びのガイダンス『道徳ではこんな学び方をするよ』が掲載されている。
光村	児童の学習上の困難さへの対応について、第3学年より冒頭の教材下段に1時間の学習の流れが見てわかるように説明した『道徳の学び方』が掲載されている。
日文	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に1時間の学習の流れや活動形態についてイラストや写真を用いて説明した『道徳の学び方』が掲載されている。
光文	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に1時間の学習の流れや、学習と日常生活の関わりについてイラストを用いて説明する『道徳の時間は、こんな時間です』が掲載されている。
学研	児童の学習上の困難さへの対応について、巻頭に考えを深めるための視点や手順についてイラストを用いて説明する『道徳の学習が始まるよ』が掲載されている。
⑮ 児童にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『ある犬のお話』などに示され、動画や各教材の朗読、スライドショー、デジタルノート等などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『まなびリンク』などに示され、画像や各教材の解説、参考資料などにつながる二次元コードが掲載されている。
光村	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『私には夢がある』などに示され、音声資料、参考資料などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、第6学年『めざせ!情報モラルの達人』などに示され、動画や音読データ、参考資料などにつながる二次元コードが掲載されている。
光文	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『棚田と人をつなぐ』などに示され、動画や関連するWebサイトへのリンクなどにつながる二次元コードが掲載されている。
学研	児童の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が、『カラフルな工夫』などに示され、動画や写真、ワークシートへのリンクなどにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 道徳的な課題を児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」、につながる工夫や配慮がなされているか。	
東書	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、自己を見つめ今後に生かす学習活動が、『考えよう』に設定されている。友だちとかかわりあって考える学習活動例が、第2学年では『いそいでいても』の『やってみてかんがえよう』に、第6学年では『ピアノの音が…』の『演じて考えよう』に設定されている。
教出	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、問題解決につながる言語活動が、第2学年では『みほちゃんと、となりのせきのますだくん』、第6学年では『〇〇しながら』の『問題を解決しよう』に設定されている。
光村	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、学びのめあてが示された学習活動が『考えよう・話し合おう』に設定されている。考えを深めるための学習活動が、第2学年では『ありがとうの手紙』、第6学年では『コスモスの花』に『考えるヒント』として設定されている。
日文	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いや、学びを振り返る学習活動が、『ぐっと深める』に設定されている。第6学年では感謝についての思いや考えを友だちと交流する学習活動が示された『ぐっと深める アスリートの言葉』が設定されている。
光文	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的価値に関連して考えることについての3つの柱が示され、それをもとに考える学習活動が、『かんがえよう』に設定されている。同じテーマを多角的な視点から考えることができるよう、第6学年では『生命のメッセージ』が『命をかがやかせて』に設定されている。
学研	道徳的な課題を自分自身の問題と捉えることについて、道徳的諸価値に関連した問いと、考え、議論する学習活動が『かんがえよう』や『ふかめよう』に設定されている。友達と話し合う学習活動が、第6学年では『ふかめよう 自然と共存するために』のように設定されている。

⑰ 自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える学びの工夫や配慮がなされているか。	
東書	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、巻頭の『どんな学びをするのかな?』では、言語活動を含めた授業の流れを文章と挿絵で掲載している。思考ツールを例示し、思考の共有化を通して、議論を深められるよう、巻末に『考えるためのツール』が掲載されている。
教出	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、道徳的課題について解決方法を考え、議論が深まるよう、第6学年では『個人の権利って?』などが掲載されている。児童が多様な視点から物事を見つめ、多面的・多角的に考え、議論できるよう、様々な問いが各教材末の『かんがえよう』『ふかめよう』『つなげよう』に掲載されている。
光村	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、児童から考えを引き出し深めていく様々な手立てが『考えるヒント』に示されている。第3学年では、他者と対話しながら様々な意見を受け止め、道徳的価値について考えを深める『考えるじゅんぴたいそう』が掲載されている。
日文	「議論する道徳」につながる内容構成について、多面的・多角的に考え、議論する話し合い活動について、写真やイラストを用いて視覚的に示した『道徳の学び方』が掲載されている。教材とは異なった角度から問題を考えるコラム『心のベンチ』が設定されている。
光文	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、言語活動の中で、考えをまとめたり、広げたりするための思考ツールを示した『いろいろなやり方で考えてみよう』が掲載されている。第6学年では『夢に向かって』など、オリエンテーション内に設定された思考ツールに立ち戻る手立てが掲載されている。
学研	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考えることについて、自己を見つめ、深く考える議論のテーマ例を示した『深めよう・自分の進む道は自分で決める』が掲載されている。第6学年では議論するテーマを提示し、多面的・多角的に議論する学習活動が『鬼の銀蔵』などに掲載されている。
⑱ 問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等が取り上げられるなど、工夫や配慮がなされているか。	
東書	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技など登場人物の言動を即興的に演技して考える学習活動を示した『えんじて考えよう』が設定されている。第5学年では実際に折り紙を作ることで考えを深める学習活動が『「折り紙大使」—加瀬三郎』に設定されている。
教出	道徳的行為に関する体験的な学習について、役割演技や登場人物等の立場になって考える学習活動が『やってみよう』に設定されている。第6学年では、教材の登場人物に話しかけることで多面的・多角的に考える学習活動が『父の言葉』に設定されている。
光村	道徳的行為に関する体験的な学習について、登場人物の言動を即興的に演じて考える役割演技を示した『演じて考えよう』が設定されている。第5学年では、教材の登場人物の言動を演技し考える学習活動が『ドッジボール対決』に設定されている。
日文	道徳的行為に関する体験的な学習について、話し合い活動や体験的な学習などの手法を用いた授業の様子を紹介した『道徳の学び方』が設定されている。第5学年では、考えを深めるために、役を演じて登場人物の心情を考える学習活動が『うばわれた自由』に設定されている。
光文	道徳的行為に関する体験的な学習について、問題解決的な学習や教材の内容を元に役割演技をする学習活動を示した『みんなでやってみよう』が設定されている。第5学年では、教材の内容をもとに役割演技をする学習活動が、『みんなでやってみよう! ナイスリターン』に設定されている。
学研	道徳的行為に関する体験的な学習について、教材での学習を基に、自分につなげて考えたり、体験したりする学習活動を示した『心のパスポート』が設定されている。第3学年では、役割演技を通して考える体験的な学習活動が『貝がら』に設定されている。

4 分量・装丁・表記等

⑱ 各内容の分量とその配分は適切であるか。

東書	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35時間（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。
教出	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、30の主たる教材が掲載されている。また、『補充の教材』として5つ（第1学年のみ4）の教材が掲載されている。
光村	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35時間（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。
日文	22の内容項目を（低学年19、中学年20）含む、35（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。また、『ふろく』として3つの教材が掲載されている。
光文	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。また、『付録』として5つ（1年のみ6）の教材が掲載されている。
学研	22の内容項目（低学年19、中学年20）を含む、35（第1学年のみ34）の主たる教材が掲載されている。

⑳ 体裁がよく、児童が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。

東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
光村	判型はB 5変型判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
光文	判型はA B判が採用されている。
学研	判型はA B判が採用されている。

㉑ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、児童が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。

東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての児童の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
光村	『児童の学習負担を軽減するよう、本文には書き文字と差異の生じない書体を使用しています。』『目次や吹き出し等には、見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザイン書体を採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
光文	『ユニバーサルデザインに配慮し、カラーバリアフリーを含む対応をしています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学研	『この教科書は、環境に配慮した紙、インキ、印刷方式を使用し、ユニバーサルデザインに配慮して制作しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第6学年	68ページ元気に中学校に通う誉佳さん、70ページししゅうをする誉佳さんとその作品、 72ページ病室でにじをえがく誉佳さん 74ページ地図・神奈川県 78ページ多摩川 109ページ横浜市SDGsの取り組みの例
教出	第5学年 第6学年	42ページ横浜港のガントリークレーン、43ページクレーンを運転する上坪さん 44ページクレーンを下から見た様子、45ページコンテナ、46ページクレーンについて語る上坪さん 120ページ日本青年館での人形かんげい式（写真提供横浜人形の家） 121ページ保存されている人形 39ページ湯河原温泉 157ページ地図・横浜、横浜水道局、158ページ横浜市のマニュアル
光村	第5学年 第6学年	173ページ神奈川県のホスピス 26ページ横須賀市立中学校のユニフォーム
日文	第3学年 第5学年 第6学年	116ページ八景島にある水族館、117ページ水族館の館内、 118ページ水族館の館内、119ページ水族館の館内 42ページ相模湾沿岸、43ページ由比ガ浜海岸、山王網一色海岸 99ページ地図・横須賀
光文	第2学年 第3学年 第4学年 第6学年	42ページ小田原市 おぎくぼ用水 めだかの学校石碑 97ページ神奈川県綾瀬市地図 34ページ相模原市石砂山ギフチョウ、35ページカンアオイ、36ページギフチョウのタマゴ 152ページ地図・横浜 58ページ『「一つの『青』」にねがいをこめて』相模原市立青和学園 60ページ相模原市立青和学園校歌 145ページ地図・根岸、製油所 74ページ葉山町棚田、75ページ作業中の写真、77ページ作業中の写真
学研	第3学年	114ページ小田原市 二宮金次郎

※ 二次元コードのリンク先にある、題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等は掲載していません

② 一冊ごとの重量（g）

発行者名	総冊数	1年	1年別冊	2年	2年別冊	3年	3年別冊	4年	4年別冊	5年	5年別冊	6年	6年別冊
東書	6	278		301		330		340		356		371	
教出	6	337		337		354		353		384		383	
光村	6	254		310		339		341		349		374	
日文	12	305	106	334	105	362	105	371	105	365	105	379	105
光文	6	319		347		360		367		375		375	
学研	6	296		311		325		339		333		349	